

大項目	小項目	検討ポイント
1 安全性 (防災・防犯)	(1) 水害	水害時のリスク
	(2) 土砂災害	土砂災害時のリスク
	(3) 地震	地震発生時(山崎断層帯+草谷断層が連動した場合の想定)のリスク
	(4) 防災機能(立地)	指定避難所としての機能性(立地面での検討)
	(5) 防犯性	不審者対策(茂みなどの隠れる場所が少ないか、人の目が多いか、夜間の明るさ等)
2 土地	(1) 面積(有効活用面積)	より良い学びの実現に向けた必要面積の確保 (必要面積は約 30,000 m ² と見込んでいる。)
	(2) 土地利用規制	土地利用に係る規制の有無とその内容
	(3) 土地保有状況	土地買収の必要性とその広さ(買収に係る費用と交渉期間)
	(4) 土地活用の利便性	土地の形状及び造成の必要性とその規模 (造成に係る費用と工期)
3 通学・アクセス	通学の利便性 (1) (スクールバスの運行等)	スクールバスを利用する子どもの数 スクールバスの最長乗車時間 スクールバスのルート別の乗車時間差
	隣接道路の状況(スクールバスの出入りの影響) (2)	スクールバスの運行や乗降における周辺地域への配慮の必要性
	周辺施設へのアクセス (3)	図書館や公民館等公共性の高い施設へのアクセス状況
	地域住民のアクセス (4)	地域住民が公共交通等で来やすい場所にあるかどうか
4 開校までの期間	想定される開校までの期間(できるだけ早い開校を目指す。)	
5 工事の影響	(1) 教育活動への影響	工事による在校生の教育活動への影響(騒音、仮設校舎の要否、運動場利用制限、体育館利用制限、プール利用制限、部活動の制限等)
	隣接道路の状況(工事車両の出入りの影響) (2)	工事車両の出入りにおける周辺地域等への配慮の必要性
	国道、県道までの道路状況(工事車両のアクセス) (3)	工事車両が通る道路整備の必要性
	騒音の影響と対策 (4)	防音壁設置等工事の騒音対策の必要性 (工事費と工期に影響がある。)
6 既存施設	(1) 既存施設利用可能性	既存施設の利用可能性
	(2) 除却要否	既存施設の除却要否(除却費用と工事期間)
7 その他	上記以外で特に配慮すべき事項	